

新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン

仙台市スポーツ少年団野球部会

1 大会開催時の感染防止対策基本方針

- (1) 大会中止判断のガイドライン
国・県・市による緊急事態宣言発令の場合及び大会前の感染状況が拡張傾向に蔓延した場合は大会を中止する。
- (2) 大会参加者は、新型コロナウイルス感染症濃厚接触者又は、体調不良等疑いがある場合2週間の経過判断の上、良好確認を出場条件とする。
- (3) 開会式は、令和3年度の各大会時のコロナ禍の状況により決定する。
- (4) 会場に入場する全員（選手・指導者・保護者（家族）・その他）は、健康チェックシート（大会用）を提出する。事務局本部で纏めて1か月程度保管し、その後、完全に粉碎破棄処分する。
- (5) 会場入り口に非接触式体温測定所を設け、検温後検査済シールを貼り入場する。
- (6) 試合前・試合後挨拶時の整列は、バッテリーボックスの外に整列して距離を確保し、握手は行わない。
- (7) 試合開始時間を定時とし、次の対戦チームは、前試合開始（定時）10分後会場入りを厳守する。
- (8) 試合を終了したチームは、次に会場入りするチームが来る前に速やかに会場を出ることを厳守する。
- (9) 会場内の必要な場所に、ポンプ式のアルコール消毒・石鹸等を常設する。
- (10) 使用するボールは随時アルコール消毒を行う。ボールボーイは、成人で行い感染対策に努める。

2 大会に参加するチームで管理し遵守する事項

- (1) 選手、指導者の健康管理
 - ① 健康チェックシート 会場に入場する全員分をチームごと取り纏め提出する。
 - ② 健康チェックシートで不具合の有る者の入場を阻止するよう管理する。
 - ③ 参加する全チームは、アルコール消毒・石鹸を携帯し、感染防止対策に努める。
 - ④ 選手と帯同審判員の車を分け、選手・一般保護者（家族）は試合終了後速やかに会場より退去し、蜜の状況を回避することに努める。
 - ⑤ 小山の勝者チームで、近くに練習出来る環境のある場合、会場を退去し、蜜状況回避に努める。
- (2) 会場に入場する選手及び指導者並びに保護者の遵守事項
 - ① 入場する全ての者は健康チェックシートを記載し提出する。
 - ② 指導者・保護者（家族）は、マスク着用を厳守する。
 - ③ 選手は、プレイ時以外の移動等の場合マスク着用。
 - ④ 保護者（家族）は、不要な会話を自粛する。
 - ⑤ 球場に入る選手・指導者・保護者（家族）は、全員マイタオルを持参する。
 - ⑥ 応援する場合は、大声を出さないで、隣との距離を確保し行うこと。（※マスク着用厳

守)

- ⑦ 大会本部へのチーム挨拶は、3密回避のため禁止する。

3 審判について

(1) マスク着用について

- ① 帯同審判員（G 審判員共）は、グラウンド内のプレイ時のマスク着用を免除する。
マスク外した状況で判定する場合、選手との距離を2 m以上確保する。
- ② 各チーム帯同審判員2名は、チーム選手・保護者と別の車に同乗し会場入りすることを厳守する。

4 新型コロナウイルスが発生した場合の取扱いについて

- (1) 新型コロナウイルスで休校中の小学校の子供は試合に出場させない。
- (2) 複数の小学校の子供で構成されているチームについては、該当する小学校の子供のみ試合に出場させない。